



# IIAS NEWSLETTER

International Institute for Advanced Studies

February 2007

# 52

財団法人  
国際高等研究所

<http://www.iias.or.jp>

index

報 告

ドイツ・東アジア学術フォーラムとの覚書を締結

平成19年度(2007年度)日本学術振興会「ハンガリーとの  
セミナー」採択決定

学術フォーラム「細胞内共生～生物界における共生と支配～」  
の開催(2006年12月9日)

日中民法典立法高等研フォーラムの開催(2007年2月3日)

謝恩の餅つき会

案 内

学術出版～2006年度既刊と刊行予定～

受 賞

京都府文化賞2006年度特別功労賞 中川久定副所長

IIASカレンダー ●研究活動(2月1日～4月30日)

●公開講演会(2月24日)

お 知 ら せ ●3月12日に木津町・加茂町・山城町が合併し、新市「木津川市」が誕生

報 告

## 研究活動報告(2006年12月1日～2007年1月31日)

研究プロジェクトのタイトル	研究会等の開催日	研究代表者	参加者数
共同研究の法モデル・学術研究機関における学術情報システムの モデル構築・産学連携の知的財産法モデル(合同)	12月1日(金)	北川善太郎	4
産学連携の知的財産法モデル	12月8日(金)	北川善太郎	4
学術フォーラム「細胞内共生～生物界における共生と支配～」	12月9日(土)	岡田 益吉・小林 悟	16
産学連携の知的財産法モデル	12月15日(金)	北川善太郎	4
スキルと組織	12月16日(土)	榎木 哲夫	15
隙間～自然、人間、社会の現象学～	12月16日(土)	鳥海 光弘	3
シンポジウム「宇宙問題への人文・社会科学からのアプローチ」	12月16日(土)	木下 富雄	44

研究プロジェクトのタイトル	研究会等の開催日	研究代表者	参加者数
スキルの科学(フォローアップ研究)	12月16日(土)	岩田 一明	8
芸術と社会～芸術表現における伝統と革新の問題～	12月19日(火)	佐々木正子	10
多元的世界観の共存とその条件～閉ざされた世界から開かれた世界へ～	12月21日(木)、22日(金)	石川 文康	9
電子系の新しい機能	12月22日(金)	新庄 輝也	9
共同研究の法モデル・学術研究機関における学術情報システムのモデル構築・産学連携の知的財産法モデル(合同)	12月22日(金)	北川善太郎	6
19世紀東アジアにおける国際秩序観の比較研究	12月26日(火)、27日(水)	吉田 忠	5
高度計測技術の発展と埋没	1月9日(火)、10日(水)	本河 光博	19
文化財保全技術	1月12日(金)	志水 隆一	33
共同研究の法モデル・学術研究機関における学術情報システムのモデル構築・産学連携の知的財産法モデル(合同)	1月12日(金)	北川善太郎	4
電子系の新しい機能	1月13日(土)	新庄 輝也	29
開発途上国と日本人長期政策アドバイザー(フォローアップ研究)	1月13日(土)	橋本日出男	4
産学連携の知的財産法モデル	1月25日(木)	北川善太郎	5
スキルと組織	1月27日(土)	榎木 哲夫	10

## 報告

### ドイツ・東アジア学術フォーラムとの覚書を締結

高等研は、ドイツ・東アジア学術フォーラム(German-East Asian Forum of Sciences and Humanities:DOAW、理事長:Prof. Dr. Heinz-Dieter Assmann)との間で、学際的・国際的研究の学術交流を促進することを目的として、2007年1月27日(土)に「学術交流に関する覚書」を締結しました。この覚書に基づき、2008年に高等研において日独法学シンポジウム「グローバル化する経済における市場と国家」とDOAW第7回協議会を開催する予定です。

## 報告

### 平成19年度(2007年度)日本学術振興会「ハンガリーとのセミナー」採択決定

日本学術振興会の「二国間交流事業共同研究・セミナー」に申請をしていた「ハンガリーとのセミナー」(研究代表者:足立裕彦 高等研フェロー・京都大学名誉教授)の採択通知が、2007年1月30日にありました。

「粒子・フォトンビームを用いた科学技術」をテーマとし、両国の研究者各6名が参加してハンガリーにおいて開催される予定です。

## 報告

### 学術フォーラム「細胞内共生～生物界における共生と支配～」の開催(2006年12月9日)

岡田益吉副所長・小林悟教授(自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター・基礎生物学研究所)を研究代表者とする作業グループ「ミトコンドリア再考」(平成17年度実施)において、ミトコンドリアがエネルギー生産に加えて有性生殖でも働くことが分かったことにより、生物界における共生の意義と進化についての研究が実施されました。

2006年12月9日(土)に本作業グループの研究活動の総括を兼ねて、16名の参加者を得て学術フォーラム「細胞内共生～生物界における共生と支配～」を開催し、ミトコンドリア、葉緑体、根粒細菌、昆虫の共生微生物、細胞内共生の実験的構築など、新たな研究領域の萌芽育成をも視野に入れて議論しました。

## 日中民法典立法高等研フォーラムの開催(2007年2月3日)

北川善太郎副所長を研究代表者として実施中の特別研究「産学連携の知的財産法モデル」及び研究プロジェクト「共同研究の法モデル」が合同で、2月3日(土)にフォーラムを開催しました。

本高等研フォーラムは、国際フォーラム「日中民法典立法～21世紀民法モデル研究～」(2005年8月開催)の際に、日中の参加研究者が、高等研の場で中国民法典立法を中心とした日中の法学交流を促進していくことに合意し、取り交わした『「日中民法典立法高等研フォーラム」についての共同覚書』に基づいて開催されたものです。



今回は「財産の合法性問題～中国物権法草案をめぐる論議と権利闘争～」をテーマに取り上げ、日中の中国民法の研究者33名が参加して、活発な議論が行われました。取り上げられた話題は、最新の立法状況にとどまらず、農民の土地に対する権利、開発に伴う土地使用権紛争、集団所有権、国家所有権、中国憲法との関係といった問題でした。

## 京都府文化賞2006年度特別功労賞 中川久定副所長

1月24日に中川久定副所長が京都府文化賞特別功労賞を受賞されました。この賞は文化芸術活動において顕著な業績をあげ、文化の高揚に多大の功労があった方に授与されるものです。京都府では「18世紀フランスの文学と思想を研究し、フランス政府から勲章を受けるなど国際的にも高い評価を得ている」と受賞理由を紹介しています。

心よりご祝辞を申し上げます。

## 謝恩の餅つき会

12月28日、日頃から高等研事業をご支援・お手伝いいただいている近隣のボランティアの方々や研究機関の方々をお招きして、平素の感謝の気持ちを込めて恒例の餅つき会をコミュニティホールで開催しました。



餅をつく李フェロー



歓談中のボランティアの皆さん

年末の多忙な時期にもかかわらず、50名を超える方々にご参加いただき、金森所長、滞在中の招へい外国人フェローや事務局職員と一緒につきたてのお餅などを味わいながら、にぎやかに歓談し共に楽しい一時を過ごしました。

## 学術出版～2006年度既刊と刊行予定～

	書名	著者/研究代表者	価格(外税)	発行日/予定日
<b>●刊行済み</b>				
高等研選書 No.21	岩倉具視～『国家』と『家族』～ 米欧巡回中の「メモ帳」とその後の家族の歴史	岩倉 具忠	1,100円	2006年10月31日
高等研報告書 No.0601	災害観の文明論的考察	小堀 鐸二	1,450円	2007年1月15日
高等研報告書 No.0603	途上国における日本人長期 政策アドバイザー体験記	橋本 日出男	2,200円	2007年2月15日
<b>●刊行予定</b>				
高等研報告書 No.0602	思考の脳内メカニズム	波多野 誼余夫	未定	2007年3月予定

\*発行後は高等研ホームページ「学術出版」からご購入いただけます。

## ●研究活動(2月1日～4月30日)

開催予定日	研究プロジェクトのタイトル	研究代表者
2月2日(金)	共同研究の法モデル・学術研究機関における学術情報システムのモデル構築・産学連携の知的財産法モデル(合同)	北川善太郎
2月3日(土)	分化全能性～普遍性と特異性～	原田 宏
2月3日(土)	第2回日中民法典立法高等研フォーラム	北川善太郎
2月9日(金)	共同研究の法モデル・学術研究機関における学術情報システムのモデル構築・産学連携の知的財産法モデル(合同)	北川善太郎
2月16日(金)、17日(土)	第3回企画委員会	金森順次郎
2月17日(土)	電子系の新しい機能	新庄 輝也
2月22日(木)、23日(金)	ダイナミクスからみた生命的システムの進化と意義	津田 一郎
2月23日(金)、24日(土)	多元的世界観の共存とその条件～閉ざされた世界から開かれた世界へ～	石川 文康
2月24日(土)	量子情報の数理(フォローアップ研究)	大矢 雅則
3月3日(土)	開発途上国と日本人長期政策アドバイザー(フォローアップ研究)	橋本日出男
3月6日(火)～10日(土)	第10回コンピュテーショナル・マテリアルズ・デザイン(CMD)ワークショップ	赤井 久純
3月9日(金)、10日(土)	電子系の新しい機能	新庄 輝也
3月10日(土)	スキルの科学(フォローアップ研究)	岩田 一明
3月16日(金)、17日(土)	学習の生物学	星 元紀
3月16日(金)、17日(土)	女性科学者と科学の未来	伊藤 厚子
3月17日(土)	スキルと組織	榎木 哲夫
3月17日(土)、18日(日)	19世紀東アジアにおける国際秩序観の比較研究	吉田 忠
3月22日(木)、23日(金)	コア・エグゼクティブと幹部公務員制度の研究	村松 岐夫
3月23日(金)、24日(土)	認識と運動における主体性の数理脳科学	沢田 康次
4月21日(土)	フォーラム「多階層連結コンピューティング」	三間 囿興
4月23日(月)～28日(土)	IIAS International Seminar on Language, Evolution, and the Brain	王 士元

## ●公開講演会

開催日	講演テーマ	講師
2月24日(土)	植物の生存戦略～植物の生き方を探り、人間生活に活かす～	鎌田 博

## お知らせ

### 3月12日に木津町・加茂町・山城町が合併し、新市「木津川市」が誕生

3月12日に木津町・加茂町・山城町が合併し、新市「木津川市」が誕生します。これに伴い高等研の住所が「京都府相楽郡木津町木津川台9丁目3番地」から「京都府木津川市木津川台9丁目3番地」に変わります。なお、郵便番号は変更ありません。

なお、学研都市をPRするため構成機関は「けいはんな学研都市」を使用しており、高等研の所在地は従来から「けいはんな学研都市木津川台9丁目3番地」と表記しています。

#### 『市章のデザインコンセプト』

「人」を組み合わせることで『木』を表し、木津川の清流をイメージしたブルーを基調に動きのあるラインで、「清潔感」と「躍動感」を示しています。

豊かな自然に生まれ、文化を創造し、市民全ての力で大きく飛躍発展する『木津川市』を表現しています。



新市「木津川市」の市章

編集・発行者

財団法人 国際高等研究所

〒619-0225 京都府相楽郡木津町木津川台9丁目3番地  
 TEL : 0774-73-4001 FAX : 0774-73-4005  
 E-mail : editor@iias.or.jp  
 http://www.iias.or.jp